

ながの金融広報だより

本年度第1回目の金融経済講演会を6月に開催します

参加無料

ただし聴講には参加証が必要です

長野県金融広報委員会が主催する本年度第1回目の金融経済講演会を、次の要領で長野市で開催します。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

日時 平成25年6月24日(月) 18:30~20:00

会場 ホテルメトロポリタン長野

講師 野口悠紀雄氏 早稲田大学ファイナンス総合研究所顧問
一橋大学名誉教授

演題 「日本経済のこれからを考える」

定員 200名(先着順)
(定員をオーバーした場合にはお断りすることもあります)

募集期限 平成25年6月18日(火)

応募方法 郵便番号、住所、氏名、電話番号(平日の昼間に連絡可能な先)を明記のうえ、**官製はがき、FAXまたはメール**でお申し込み下さい。先着200名様に参加証をお送りします。

宛て先 〒380-0936 長野市岡田178-8
日本銀行長野事務所内 長野県金融広報委員会「講演会K」係
FAX: 026-223-0128 E-mail: info@nagano-money.com

※ お送り頂いた個人情報は、当講演会関係事務以外に使用することはありません。



【プロフィール】

1963年 東京大学工学部卒業。
1964年 大蔵省入省。
1972年 エール大学Ph.D.(経済学博士号)を取得。
一橋大学教授、東京大学教授(先端経済工学研究センター長)、スタンフォード大学客員教授などを経て、
2005年4月より 早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授。
2011年4月より 現職。

原アドバイザーが「金融知識普及功績者」として表彰されました

当委員会の原元士金融広報アドバイザーが「平成24年度金融知識普及功績者」として表彰され、2月6日に日本銀行松本支店において、松下支店長より表彰状が授与されました。

「金融知識普及功績者」は、金融庁及び日本銀行が、金融及びその背景となる経済についての教育活動をより一層推進するため、国民の金融に係る知識の普及・向上に功績のあった者及び団体に対して表彰を行っているもので、24年度は全国で16名3団体が選ばれました。

原氏は平成15年4月に金融広報アドバイザーに委嘱されてから現在まで、ファイナンシャルプランナー(CFP)としての専門知識を活かし、ライフプランや金融資産等の運

用、退職後の生活設計、相続・税金といった講義を数多く行っています。

更に、高等学校・専修学校・各種学校等の生徒を対象に行っている青少年生活設計講座の講師を数多く担当しており、契約や保証の意義、クレジットカードの仕組みや正しい使い方など、これから社会に出るにあたって必要な消費者知識等を分かりやすく解説するなど、青少年に対する健全な経済観の育成にも尽力されています。



表彰状を手にする原アドバイザー(右)

金融教育研究校を委嘱しました

長野県金融広報委員会では、毎年度、生徒・児童が社会人になっても役立つ金融知識を身に付けられるよう、学校教育の中で金融教育の要素を取り込んだ授業を幅広く展開する「金融教育研究校」を委嘱しています。

今年度は下記の3校を委嘱しました。このうち、諏訪市立諏訪南中学校は前年度からの継続委嘱であり、本年11月には同校にて公開授業とダニエル・カール氏の講演会を開催する予定です。

研究校は、随時募集しておりますので、関心のある学校は委員会事務局までお問い合わせ下さい。

学校名	委嘱期間
諏訪市立諏訪南中学校	24・25年度
立科町立立科中学校	25・26年度
長野県穂高商業高等学校	25年度



『くらし塾きんゆう塾』を差上げます

当委員会の中央組織である金融広報中央委員会では、くらしに役立つ身近な金融知識や、金融教育の情報、委員会の活動内容などを紹介した広報誌『くらし塾きんゆう塾』を季刊発行(1、4、7、10月)しています。内容は金融広報中央委員会のホームページでもご覧いただけますが、冊子を希望の方は事務局までお越し下さるか、お問い合わせ下さい。



コラム 信州の風

「長寿日本一」を生かそう 長野県金融広報委員会 事務局長 (日本銀行長野事務所長) 林 幸裕

2月に厚労省が発表した2010年の平均寿命は男女とも長野県が全国1位となりました。その要因は、高齢者就業率の高さ、野菜摂取量の多さ、喫煙率の低さなど様々言われておりますが、いずれにしても全国に誇れることです。そもそも、日本が世界一の長寿国(世界保健機構公表)であることを考えれば、長野県は世界一の長寿県かもしれません。

折しも、県は2013年度から始まる5か年計画で「未来の信州の姿」の一つとして、「健康長寿世界一の信州」を挙げていますが、こうした信州の健康長寿を生かすことは、今後の信州の発展にとって重要です。例えば、世界一の健康長寿県を謳い文句に海外の富裕層に医療サービス等を提供する医療ツーリズムもその一つです。単に医療サービスの提供にとどまらず、長寿県信州の食を提供するとともに、豊富な温泉を活用し湯治で長期滞在を

促すのも一案かと思えます。

また、健康・医療分野といった点では、「長野県ものづくり産業振興戦略プラン」の一つである「メディカル産業支援センター」を核とする医療機器メーカーの育成も注目されます。医療機器は薬事法が適用されており、様々な規制が存在しますが、薬で有名な隣県富山県も同様の事情を抱えています。2015年には長野新幹線が延伸されますが、関係県では観光客の誘致などそれぞれの戦略をたてています。お互いに切磋琢磨し競争するのも大切ですが、延伸を機に富山県とタッグを組んで規制緩和を働きかけ、アベノミクス3本目の矢である成長戦略の一つとして、「健康・医療産業基地、信州・富山」を標榜する等、Win-Winの関係を目指しては如何でしょうか。



長野県金融広報委員会(会長:阿部長野県知事)

【事務局】 〒380-0936 長野市岡田178-8(日本銀行長野事務所内)
TEL:026-227-1296 FAX:026-223-0128
E-mail:info@nagano-money.com URL:http://www.nagano-money.com

金融広報アドバイザーの講師派遣を希望される方は、事務局(026-227-1296)までお問い合わせいただくか、当委員会のホームページをご覧ください。